

PT・OT ビジュアルテキスト

理学療法概論

第2版

contents

課題・動画を使ってエッセンスを学びとる

- 第2版の序 庄本康治
- 本書の特徴と使い方 10

第1章 日本の理学療法

1	理学療法	庄本康治
1	理学療法の定義.....	12
2	日本の理学療法のはじまり.....	13
	1) 整形外科医とともに歩む 2) 日本での理学療法士・作業療法士の誕生まで	
2	リハビリテーションとハビリテーション	庄本康治
1	リハビリテーション.....	16
2	リハビリテーションの分野 動画	16
	1) 教育的リハビリテーション 2) 職業的リハビリテーション 3) 社会的リハビリテーション 4) 医学的リハビリテーション 5) 地域リハビリテーション	
3	ハビリテーション.....	19
3	理学療法士及び作業療法士法	庄本康治
1	理学療法士及び作業療法士法 (PT・OT法) における理学療法 動画	21
2	PT・OT法における作業療法 動画	22
3	理学療法士免許.....	23
4	業務など.....	24
5	秘密を守る義務.....	25
6	個人情報保護法について.....	25
	1) 歴史 2) 個人情報とは 3) 個人識別符号とは 4) 要配慮個人情報とは 5) 仮名加工情報とは 6) 匿名加工情報とは 7) 個人情報データベース等とは 8) 個人データとは 9) 個人情報取り扱いのチェックポイント	
7	名称独占と業務独占.....	28

4 職域と労働対価 ——奥埜博之

- 1 理学療法士の職域 **動画** 30
 - 1) 医療における職域 2) 介護（介護保険）における職域 3) 地域包括ケアシステム
 - 4) 障害児入所施設、障害児通所支援 5) 健常者の健康増進、予防（一～三次予防）
 - 6) スポーツにおける職域 7) 行政における領域 8) 教育・研究における職域
 - 9) 自費リハビリテーション領域
- 2 理学療法士の労働対価 42
 - 1) 理学療法士の賃金について 2) 医療保険 3) 労働者災害補償保険制度
 - 4) 介護保険制度 5) 本邦の医療経済状態について

5 職能団体と協働職種 ——中村潤二

- 1 理学療法士の組織 48
 - 1) 日本理学療法士協会 2) 日本理学療法士協会の生涯学習制度 3) 日本理学療法学会連合
 - 4) 日本理学療法士連盟
- 2 理学療法士の協働職種 **動画** 51
 - 1) 医師 2) 看護師 3) 作業療法士（occupational therapists：OT）
 - 4) 言語聴覚士（speech therapistあるいはspeech-language-hearing therapists：ST）
 - 5) 管理栄養士 6) 介護福祉士（ケアワーカー） 7) 社会福祉士 8) 義肢装具士
 - 9) 臨床心理士・公認心理士 10) 介護支援専門員（ケアマネージャー）

6 理学療法士の卒前教育（学生教育） ——庄本康治

- 1 理学療法士養成施設について 59
- 2 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則 61
- 3 臨床実習 61
 - 1) 臨床実習教育 2) 臨床実習の教育目標 3) 臨床実習指導者について
 - 4) 実習生が実施可能な理学療法範囲と水準について
- 4 国家試験 64
 - 1) 国家試験の時期と合格発表 2) 国家試験の出題 3) 国家試験合格率
- 5 大学院教育 69

7 理学療法士の研究 ——中村潤二

- 1 研究の必要性 70
- 2 研究の種類 71

第2章 世界の理学療法

1 世界理学療法連盟 ——庄本康治

- 1 世界理学療法連盟 72
- 2 世界理学療法連盟のビジョンと目的 72
- 3 世界理学療法連盟による理学療法士教育 74
 - 1) 理学療法士に求められるコンピテンス 2) 理学療法士の実践コンピテンス範囲

2 アメリカの理学療法 ——庄本康治

- 1 物理医学とリハビリテーションの歴史 79
 - 1) アメリカリハビリテーション医学会の主要団体と代表的な医学雑誌 2) ACRMの歴史
- 2 物理医学とリハビリテーション科専門医 81

3	アメリカ理学療法の歴史	82
4	アメリカにおける理学療法士の現状	84
	1) 概要 2) 教育・働き方 3) 医師との関係・医療制度	
3	各国の理学療法	松本大輔
1	イギリスの理学療法	87
	1) 概要 2) 教育 3) 働き方・医師との関係・医療制度 4) 対外的な活動	
2	フランスの理学療法	89
	1) 概要 2) 教育 3) 働き方・医師との関係・医療制度 4) 関連職種	
3	オーストラリアの理学療法	91
	1) 概要 2) 教育 3) 働き方・医師との関係・医療制度	
4	台湾の理学療法	93
	1) 概要 2) 教育 3) 働き方・医師との関係・医療制度 4) 関連職種	
5	韓国の理学療法	96
	1) 概要 2) 教育 3) 働き方・医師との関係・医療制度 4) 関連職種	
6	まとめ	97
4	再考：日本の理学療法の課題	生野公貴
1	理学療法士及び作業療法士法の問題点と課題	102
2	診療報酬制度における理学療法士の課題	103
	1) 診療報酬制度における出来高払いと包括支払い制度 2) 混合診療の禁止と自費による理学療法	
3	理学療法士の専門性	105
	1) 専門・認定理学療法士制度 2) 制度の問題点と課題	
4	理学療法士の職域の拡大	106
	1) 地域包括ケアシステムと理学療法士 2) がんと理学療法士 3) 理学療法と開業・起業	

第3章 疾患と障害の分類

1	国際疾病分類 (ICD) と国際障害分類 (ICIDH)	生野公貴
1	国際疾病分類 (ICD)	115
2	障害	116
3	ICIDHモデル (国際障害分類モデル)	116
	1) 機能障害 (impairment) 2) 能力障害 (disability) 3) 社会的不利 (handicap)	
4	機能障害 (impairment) 動画	117
	1) 一次性機能障害 (primary impairment) 2) 二次性機能障害 (secondary impairment) 3) 機能障害の原因と予後	
5	能力障害 (disability) 動画	123
	1) 能力障害の定義 2) 能力障害を判断するための実用性	
6	社会的不利 (handicap) 動画	126
7	各障害レベルの関係性 動画	127
2	国際生活機能分類 (ICF)	生野公貴
1	ICIDHからICFへの発展	130
	1) 障害という表現 2) ノーマライゼーションと自立生活運動 3) ICFへの改訂	

2	ICFの目的・構成要素とその相互関係 動画	133
	1) ICFの目的と概要 2) ICFの概観と構成要素 3) 各階層および因子との相互作用の関係	
3	ICFを用いた理学療法評価	142
	1) ICF評価点 2) ICFコアセット (ICF core sets) 3) ICFを用いた理学療法評価の実際	

第4章 理学療法評価と治療，理学療法士に求められる要素

1	理学療法評価	尾川達也
1	理学療法評価 動画	148
	1) 全体像の把握 2) 治療と目標設定 3) 介入後の効果判定と予後の推測	
2	評価手順 動画	150
	1) トップダウン型 2) ボトムアップ型 3) 得られた情報の統合と解釈	
3	ADL	152
	1) ADL 2) IADL 3) APDL 4) AADL 5) ADL評価法	
4	QOLと健康生成論，幸福感 (Well-being)	155
	1) QOL 2) 健康生成論 3) 幸福感 (Well-being) 4) 高齢者の特徴	
5	評価にもとづいた治療実施	159
	1) 評価と治療 2) 医療における意思決定方法 3) 人との関係性による影響 4) 理学療法にかかわるコミュニケーション	
6	他職種との連携	167
7	再評価と記録報告	168
	1) 再評価 2) 記録報告	
2	理学療法における治療	辻本直秀
1	現代医学におけるパラダイム	171
	1) EBM (根拠にもとづく医療) 2) NBM (物語と対話にもとづく医療) 3) VBM (価値にもとづく医療)	
2	運動療法	176
	1) 特徴 2) 歴史	
3	物理療法	179
	1) 温熱療法 2) 光線療法 3) 電気療法 4) 牽引療法	
4	ファンクショナルトレーニング (Functional training)	182
5	患者教育	183
6	義肢・装具 動画	183
	1) 義肢について 2) 装具について	
7	医療事故	186
3	理学療法士に求められる要素	庄本康治
1	理学療法士に求められる3つの領域	188
2	理学療法士として要求される認知領域	189
3	理学療法士に要求される情意領域 動画	190
	1) 実習時に問題となる情意領域 2) プロフェッション	

4	理学療法士に要求される精神運動領域 <small>動画</small>	195
5	非認知能力について	197
6	理学療法士に要求される倫理	197
	1) 倫理観を育む 2) ハラスメント	
7	理学療法士に求められるテクノロジー対応力	204
4	理学療法士としての志	庄本康治
1	立志の意義	205
2	天職の意義 (プロフェッショナリズム)	207
3	モチベーション (動機づけ) について	209
5	日本人に影響を与えている思想	庄本康治
1	ニーズ把握・ゴール設定に重要な、日本人に影響を与えている思想	210
2	古事記・神話	211
3	儒教	212
4	仏教	213
5	神道	215
6	武士道	216
7	教養を深める重要性	217
6	障害受容について	庄本康治
1	障害受容	218
2	障害受容の段階	219
	巻末付録	庄本康治
1	理学療法士及び作業療法士法	222
2	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則	225
3	日本理学療法士協会倫理綱領	231
4	理学療法士養成施設に必要な機械器具	232
5	理学療法士国家試験出題基準 専門基礎分野 (令和6年版)	234
6	理学療法士国家試験出題基準 専門分野 (令和6年版)	240
●	索引	250

■ 正誤表・更新情報

<https://www.yodosha.co.jp/textbook/book/7421/index.html>



本書発行後に変更、更新、追加された情報や、訂正箇所のある場合は、上記のページ中ほどの「正誤表・更新情報」を随時更新しお知らせします。

■ お問い合わせ

<https://www.yodosha.co.jp/textbook/inquiry/other.html>



本書に関するご意見・ご感想や、弊社の教科書に関するお問い合わせは上記のリンク先からお願いします。